

春風秋霜 7月号

平成28年7月1日
島田市教育委員会だより
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 あいさつは、顔を見て

6月7日（火）に、市青少年育成支援センターの総会が行われました。今年も約200人の補導員が活動を開始します。学校関係者だけでなく、自治会関係者・民生児童委員・保護司など、様々な団体にも協力していただいています。

総会の中の講話において、地域安全推進委員の桑子文雄さんから、「学校において地域や保護者による挨拶運動が行われているが、心を込めた挨拶になっているか心配になる。」と指摘を受けました。子供たちが近くに来るまで雑談をし、近くに来てから顔を上げて挨拶をするのと、遠くにいる子供の様子を見て、その子の様子に合った声掛けをするのでは大きな違いがあると言うのです

私も挨拶の中で、「〇〇さん、おはよう」のように名前をつけた挨拶をお願いしました。少しでも子供との距離感を少なくし、『あなたを見守っている』というメッセージを届けたいものです。そんなつながりを感じさせる挨拶を目指したいものです。

2 リオオリンピック・パラリンピックに向けて

リオオリンピック選手に決まった長谷川純矢選手が、5月27日（金）に市長を表敬訪問しました。長谷川選手は、トップアスリートの割にはシャイな方でした。しかし、小学生からオリンピック出場や日本記録を夢見るなど、能力だけでなく意識も高かったようです。卒業文集には、目標を達成しても更なる上を目指し練習する様子が書かれていました。

一流のアスリートになるためには、『早期から目標をもって努力すること』『指導者に恵まれること』『素質に恵まれること』など、いくつかの条件があると思います。以前紹介したサッカー日本代表の長谷部選手と共通することは、真面目に練習に取り組む姿勢だと思いました。故障や怪我もなくオリンピックで活躍してくれることを願わずにはられません。

パラリンピック車椅子バスケの藤本怜央選手や柔道の米田真由美選手には、7月15日に会う予定になっています。どんな選手なのか自分の目で確かめたいと思っています。一流となる人たちの話には、学ぶものが必ずあると思ので、会うのが楽しみです。

オリンピック・パラリンピックに島田市から3人の選手が参加するということは、めったに無いことです。これは、子供たちの夢にもつながる素晴らしい快挙です。子供たちに必要な情報を伝え、できるだけ多くの子供がオリンピックに関心を持つよう、指導をお願いします。

3 時間外勤務について

6月議会では、教職員の多忙化についての質問がありました。議員の皆さんも教職員の多忙化を心配しています。時間外勤務の実態は、小学校では分掌によって差があり、中学校では部活動を頑張っている若手や中堅教員に多い傾向が見られます。また、小学校では4月に集中し、中学校では連休など休日の多い月や大会の多い月が多くなっています。

月に80時間以上の時間外勤務があると、身体的だけでなく精神的な疲れも蓄積します。この疲労は、他のストレスと重なるとダメージが大きくなります。これまで、部活動にやりがいや充実感を感じていた教員も、年齢と共に疲労の回復が遅くなるということも意識しなくてはなりません。

体調不良を自覚したら、校医との面談や教育公務員共済会の無料相談も活用できます。ま

た、負担を感じた時に相談や支えてもらえる仲間をつくることも大切です。

中学校の部活動については、文部科学省は休養日の設定を奨励しています。雨天日の休養で十分という考えではなく、計画的な休養日の設定が求められます。各学校は、時間外勤務を減らすための工夫を学校全体で取り組む必要があります。

4 平和を考える機会を

アメリカのオバマ大統領が広島での平和記念資料館を訪れたことをきっかけに、平和記念資料館の入場者数が倍増したというニュースを聞きました。オバマ氏の見学時間が短かったため、どれだけ深く見たかは分かりませんが、戦争の悲惨さに目を向ける人が増えたことは、よかったと思います。

8月15日(月)に行われる島田市の平和祈念式典は、島田市出身で広島市の平和大使にもなっているフランス在住の歌人、美帆 シボさんの講演が予定されています。今年の平和祈念式典は、平和についてこれまでとは視点を変えて考える機会になると思います。

小学校高学年と中学生には、式典のチラシが配布されます。できるだけ多くの児童生徒がこの講演を聞くことができればと思います。子供たちへの働きかけをお願いします。

5 金谷医王寺薬師堂大工のお仕事現場見学会

県指定文化財の医王寺薬師堂の修復が順調に進んでいます。この修復には、5年生の国語の教科書にのっている白鷹幸伯さんの『千年の釘』が使われます。この見学会では、宮大工の仕事を見学したり、体験したりするだけでなく、『千年の釘』の実物も見ることができます。

日時 8月25日(木) (10時~12時) 場所 金谷医王寺
対象者 親子15組 (30人程度)
詳しくは、教育委員会文化課に 電話 46-3446



左3本は古釘、右が白鷹さんの釘



肘かけ椅子

牧野 高彦 教育委員長

「夏の夜空」

50年ほど前のことです。小学2年生の私は、本に「七夕になると織り姫星と彦星が年一回『天の川』を渡って会いに来る。」と書いてあるのを見つけました。当時は金谷でも天の川がよく見えていましたから、月遅れの八月七日頃、夕食後2階の部屋の明かりを消して、一人、窓から屋根の上に出て織り姫星と彦星を探しました。そして、いつ天の川を渡るのかとじっと見ていました。時折、流れ星がスーッと現れますが、いつまでたっても織り姫星も彦星も天の川を渡りませんでした。

何時間たちましたか下の方で家族が心配する声が出て、その夜の観望は終わりました。

あとになって民話の世界とわかるのですが、本を通して夢を見ることが出来たこと、そして、その夜のやさしい風と、「星月夜(ほしづきよ)」にシャワーのように包まれた感覚は、50年たった今でもよく覚えています。

今年の夏の夜空は、木星が西の空低くに、そして土星・火星が南のさそり座のアンタレス(赤い星)の近くに輝いて見えます。黄色かな? オレンジ色かな? 土星の方が白っぽいかな? 並んでいるので色の違いを楽しめます。家族で夜空を楽しんでみてはいかがでしょうか。